学校番号	1005

令和２年度　芸術　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	2、3年次
使用教科書	高校音楽Ⅱ　Music　View　（教育出版）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現および鑑賞の活動において、音楽を形づくっている要素を知覚感受し、その働きを感じ取って表現したり、根拠をもって音楽の良さを言葉で表すことを重視する。
・人間の生活や社会と音楽の関わりを意識し、文化的・歴史的な背景とともに、音楽文化の理解を深める観点から、伝統・文化に関する学習活動の充実を図る。

授業の進め方については、表現(歌唱・器楽・創作)と鑑賞を並行して行なう。
実技テストは、授業中に生徒の前で発表する形式と、音楽準備室で教員の前でのみ発表する形式と学習内容、テスト種に寄って分けている。(主に歌唱に関しては、生徒自身が力を発揮しやすいように別室で行なう事が多い)。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
また、生徒同士でグループを組み課題に向き合わせる事で、コミュニケーション力や計画性をもって協力して課題に向き合うことができる力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽は様々な要素(音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア、強弱、形式、構成など)が関連しあって形づくられているのを判別し、受け入れる。	楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、思いや意図をもって演奏する。	姿勢や身体の使い方、呼吸法だけでなく、発声や楽器固有の音がどのような特徴をもっているのかを考え、表現に結び付けて演奏する。	様々な音楽を聴き、それぞれの音楽がもつ良さや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽経験を豊かにし、創造的な鑑賞の能力を伸ばす。
評価方法	演奏発表 自己評価シート 感想シート	演奏発表 自己評価シート 感想シート	演奏発表 ワークシート	ワークシート 鑑賞の記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動(年間学習指導計画)

学期	学習項目	学習内容	主な評価の観点				到達目標	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	歌唱 「校歌」、「ひまわりの花」、「ひとつしない地球」	・基礎的な発声法や発音の仕方を身に付ける。 ・歌詞の内容を理解し、イメージをもって発声するよう意識して演奏する。 ・音の高低を意識して写譜をする。	○	○	○		a:発声の仕組みについて理解しようとし、口の形や呼吸の取り入れ方よって声が変わることに興味・関心をもっている。 b:歌詞の内容と、音楽を形作っている要素の働きを感じて、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技術を身につけている。	観察 実技テスト ワークシート
	器楽 ギター・キーボード ・コードネームと運指 「チェリー」、「トイレの神様」、「Across the universe」	・音楽Ⅰで学習した基本的な奏法を復習し、メジャーコードの運指について知る。 ・ギターコードと並行してキーボードのコード運指を練習する。 ・2人ずつペアを組み、ギターとキーボードのコードでリズムをアレンジし、二重奏する。	○		○		a:①運指について理解をし、響きのあるコードになるように押さえる指の角度や力加減を工夫し、自分の音を良く聴いている。 ②ペアの生徒同士協力し合い、共に課題に向き合い、練習を重ね仕上げていく姿勢をもっている。お互いのテンポ感や、タイミングを待つことを経験し、相手を理解しようと進めている。 c:音色や曲想にふさわしいテンポを意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 実技テスト 発表 ワークシート
	鑑賞 ・ヴァイオリンの音色 「マンマミーア」(DVD 鑑賞)	・ヴァイオリン奏者神尾真由子について学び、クラシック作品を鑑賞する。ヴァイオリンの音色に親しむ。 ・物語の内容を理解し、場面で使われている曲の音色、リズム、雰囲気の違いに気づき、評論する。	○			○	a:楽器の音色に興味・関心をもち、弦楽器独特の音色を味わうことができている。作曲者が曲に込めた意図や思いを理解し、寄り添い聴く事ができている。 d:提示した観点に関して、鑑賞した作品についての感想を自分の言葉で表している。ミュージカル独特の発声とクラシックの発声の違いを感じ取っている。	観察 ワークシート

2学期	歌唱 「島唄」「Ｏｈ Happy Day」 二重唱	・ソプラノ、アルト両方のパートの音程を正確に取り、演奏する。 ・2重唱に際し、声量のバランスを意識して発声し、演奏する。また、相手の声を良く聴き、音程の心地よい響きを意識して演奏する。	○	○	○		a:①歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素との関わりに興味・関心をもっている。②二重唱の良さを感じ取り、アンサンブルにおける表現に興味・関心をもっている。 b:二つのパートの役割や響きの調和を意識しながら、創造的に表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 実技テスト ワークシート
	器楽 ボディパーカッション 箏	・色々なリズムパターンを模倣する。 ・リズムに合った身近な言葉を考え、パターンを組み合わせる。 ・3 人でペアを組んで、ボディパーカッションを演奏する。 ・和楽器の音色に親しみ、日本文化について理解する。基本的な奏法について知る。	○	○	○		a:リズムの違いにより醸し出す雰囲気が変わることに b:弦が響く場所を知り、押さえ方の角度や弾き方を工夫し、より三線らしい音色が出せるように工夫している。 c:三線の運指の移り変わりと歌がずれないようにテンポ良く演奏する技能を身につけている。	観察 実技テスト 発表 ワークシート
3学期	器楽・創作 ギター 奏法とタブ譜について 「自由創作」 「禁じられた遊び」 写譜	・フレットなどギターの仕組みについて理解し、音階の運指を理解する。 ・イメージしたテーマの情景・雰囲気を想像し、ギターの音で簡単なメロディを創作する。 ・指が滑らかに移行することを意識し、演奏する。 ・音の高低を意識して写譜をする。	○	○	○		a:ギターの奏法に興味を持ち、弦楽器の豊かな音色に興味。関心をもっている。また、同じ弦楽器でも三線の音との響きの違いを知り、和楽器と洋楽器の違いに気付いている。 b:イメージを音にすることに対し、意図をもって表現しようと工夫している。 c:表現したいことを伝えるための発想と技術を身に付けている。	観察 実技テスト ワークシート

	鑑賞 ・弦楽器の音色の違い、仕組みの違いについて知る 「ハイスクールミュージカルⅡ・Ⅲ」(DVD 鑑賞)	・年間を通して学んできた弦楽器(ヴァイオリン・三線・ギター)の共通点、相違点について理解し、それぞれの良さを味わう。 ・物語の内容を理解し、場面で使われている曲の音色、リズム、雰囲気の違いに気づき、評論する。	○			○	a:①楽器の音色に興味・関心をもち、弦楽器独特の音色を味わうことができている。②弦の本数、楽器の大きさなどの構造上の違いを理解し、同じ曲でも聞こえ方が異なることを理解する。 d:提示した観点に関して、鑑賞した作品についての感想を自分の言葉で表している。	観察 発表 ワークシート

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。